

国際ロータリー 第2510地区
2007-2008年度

ガバナー月信

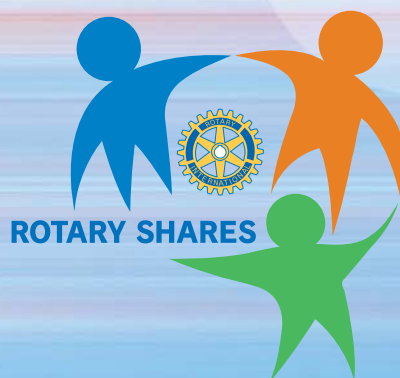
No.13
2008
7

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

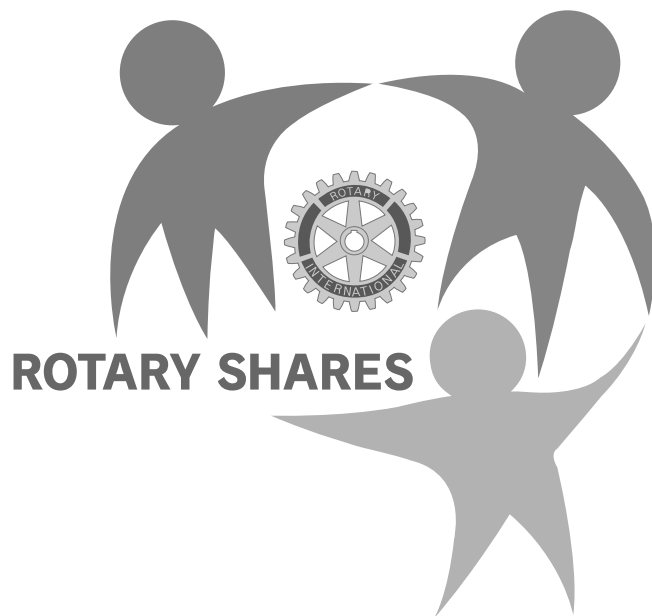
2007-2008



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510



国際ロータリー2510地区
2007-2008年度ガバナー 酒井 正人 MASATO SAKAI
〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3階
TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 E-mail:rid2510@nifty.com
URL:<http://www.ri2510.gr.jp/>



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

CONTENTS

酒井ガバナー挨拶	1
ガバナー補佐挨拶	3
地区委員会委員長挨拶	9
韓国地区大会参加報告	21
静内RC・WCS事業報告	22
国際友好委員会ニュース	23
岩見沢東RC・サッカー教室開催／訃報／新入会員の紹介	24
ロータリー財団寄付／米山寄付	25
2007-2008年度クラブ別ロータリー財団寄付一覧	26
2007-2008年度クラブ別米山記念奨学会寄付一覧	28
5月分出席報告	30
6月分出席報告	31



感謝をこめて

2007～2008年度国際ロータリー

第2510地区ガバナー 酒井 正人

昨年1月ガバナーエレクトとして、サンディエゴで開催された国際協議会に出席してウィルキンソン会長から「Rotary Shares = ロータリーは分かちあいの心」を教示されてから準備にかかり、会長エレクト研修セミナー、地区協議会を通してクラブ会長を始めとしてクラブの運営に関わる方々に示されたテーマの意味をお伝えしました。当該年度においては、公式訪問、地区大会、各種地区委員会と職務全うに全力で努めて参りました。そして、あっという間にガバナー年度の一年間が過ぎてしまいました。それは諸先輩を始めとした多くのロータリアンのご支援とご協力のお陰であると感謝をしております。そして、地区運営に尽力をして活動されました全ての方々に衷心よりお礼申し上げます。

私はこの間、多くの方とお会いしました。ロータリーについて沢山の意見を交換させて頂きました。そして、私の頭の中にある霧の中にあるロータリー観が少しずつハッキリして行くのが感じられました。しばしば聴く言葉に「ロータリーは親睦が全て」「クラブ運営は取りあえず親睦をやっていれば良い」等々。確かに国際ロータリーのプログラムにも、世界に90以上あり、共通の関心を持つロータリアンやその配偶者、ローターアクターで構成されている世界ネットワーク活動グループとして、ロータリー親睦グループ（職業別、趣味別グループ）とロータリー行動グループ（奉仕活動関連グループ）があります。クラブにおいては親睦活動委員会があり、例会での親睦にとどまらず、夜間例会での飲み会やゴルフにと大活躍をしています。インターネットの辞書検索ページで「親睦」と入力して見ましたら、プログレッシブ和英中辞典及びニューセンチュリー和英辞典では「friendship」と表示されました。事実「friendship=親睦」として一生懸命クラブ会員の親睦のため活動しています。

ここで、ロータリーの歴史を振り返って見ますと、1905年2月23日、シカゴのマダム・ガリのレストランでポール・ハリス、シルベスター・シールの二人が新しいクラブの構想について話し合い、その後ガスターバス・ローア、ハイラム・ショーレーを加えて4人の友人がロータリー創設の最初の会合を持ったことは皆様ご承知のことと思います。まさにこの時期が「friendship=親睦」であると私は考えます。やがてメンバーを増やしていく中でガスターバス・ローアは健康上の理由で、ハイラム・ショーレーは3回目の例会でと、二人はかなり早い時期に退会をしてしまいます。

さて、ロータリーで現在親睦に相当する言葉は「fellowship」が使用されています。では「friendship=親睦」と「fellowship=親睦」とは全く同じ意味でしょうか。「friendship」は「友人の親しさ」を意味するのに対して「fellowship」は呉越同舟とは言いませんが、「ある目的のために集まる仲間の親しさ」を意味しているのではないのでしょうか。ある方から私に「ロータリーは親睦が一番だと思うのですが」と問いかけられました。私は「違います。親睦は当然のことで、順番を付けるようなものではなく、目的遂行のための手段」と答えたのを記憶しています。つまり、ゴルフや麻雀、飲み会をやり、友達づきあいをして特定の間人関係を作ることではないのです。ロータリーに入会し、まもなく退会した会員のアンケートに「排他的で馴染めなかったから」とあったのを記憶のことと思います。「fellowship」はクラブ例会やロータリー運営において、仕事上のしがらみや、友人間のしがらみを超越してロータリーの目的である「奉仕」を語り、実践するために、相手を思いやり、節度ある対応をすることではないかと思ひます。

ゴルフや麻雀、飲み会を否定するものでは有りませんが、あくまでも「fellowship」を補足するものと位置づけるべきだと思います。

1927年アーサー・フレドリック・シェルドンにより職業奉仕の概念が取り入れられることでロータリーは大きな転換期を迎えます。ロータリーは哲学であると言われる部分なのだと思いますが、他の類似団体との明確な違いを理論づけるものなのでしょう。しかし、「親睦」→「職業奉仕」と概念は変化するもののベクトルの向く先は自己であります。つまり自分や自分達のための発想です。1906年のドナルド・カーター事件をご記憶でしょうか、特許弁理士ドナルド・カーターに「物質的互惠」の特典を説明して、シカゴ・クラブへの入会を薦めたとき、「彼は職業を持って社会で生活している以上、職業を通じて社会に貢献することが、自分が存在する証になるのであって、自分たちだけの利益にこだわって、社会的に何もしない団体に将来性も魅力もない」と述べ、入会を断りました。1917年にはアーチ・クランフが「ロータリーが基金を作り全世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野で、何か良いことをしよう」と提案したのがロータリー財団の始まりとされています。この二つの事柄はそれまでのロータリーからすると、正反対の考え方です。ベクトルの示す方向は自己から他人に変わることとなります。そして、現在のロータリーはこの部分である社会奉仕や国際奉仕に注目しているのです。そのため、ロータリーの看板である職業奉仕が、ないがしろにされていると嘆く方が多いのも事実であります。では、本当に職業奉仕が、ないがしろにされているのでしょうか。私はそうは思いません。前述の「親睦」と同様に職業奉仕をすることはロータリーにとって、あたりまえのことであり、会員自分自身の責任であると思います。それはロータリーの綱領が不変であるからです。しかし、今年度は食肉偽装、賞味期限の改ざん、食べ残しの再利用、産地偽装と挙げればきりがなくらい職業奉仕に関わる事件が取り上げられましたが、これらは職業奉仕以前のコンプライアンス（法令遵守）の問題です。

ロータリーを取り巻く社会が、ロータリーに求めているのはニーズに対応した社会奉仕であり、世界社会奉仕であります。ポール・ハリスはロータリーの設立当初から「ロータリーは変化しなければならない」と言っておりました。ダーウィン等の進化論にも見られるように、環境に適応しなければ淘汰されることになるでしょうし、適応していくことが進化とも言えます。ロータリーの歴史は100年を超えました。世界は100年間の間に大きな変化をしています。多くの類似奉仕団体が活躍するようになりました。また、個人でも奉仕活動をしています。ロータリーに入会し、まもなく退会した会員のアンケートに「活動に期待はずれ」とあったのをご記憶のことと思います。私達のこの素晴らしいロータリーの理念であるDNAを受け継いでもらうためには社会に適応しなければなりません。

ウィルフリッドJ. ウィルキンソン国際ロータリー会長が「Rotary Shares = ロータリーは分かちあいの心」つまり「超我の奉仕」の実践をロータリアンに求めました。私達の持てるものを全ての人々と共有するようと。つまり、個々のロータリアンが親睦や職業奉仕を幹として育った樹木の収穫物である林檎や、梨のように、その成果を外に向けて、奉仕活動として、必要な人々と共有して行こうということです。ロータリーの徽章を付けて、仲間との親睦だけをはかり、ロータリーの理念だけを語るのではなく、共に汗をかいて求められる活動の実践を今後も進めて行こうではありませんか。ロータリーのテーマはその年度だけものではありません。それはロータリーの心だからです。皆様のロータリー人生がより満足できますことを心よりお祈り申し上げます。

地区ガバナー補佐ご挨拶

1年間を振り返って



地区ガバナー補佐（第1グループ担当）
舟橋 隆宏（羽幌RC）

1年間ガバナー補佐を引き受け、自分なりに一生懸命にやってきました。クラブ訪問など自分が目標としていたようにはいきませんでした。楽しく1年間を過ぎて戴きました。クラブ訪問は、今迄ほとんど経験がありませんでしたので大変緊張しましたが、各クラブ会員の友情に支えられて緊張しながらも楽しいクラブ訪問となりました。会員の多いクラブ、少ないクラブと様々でしたが、それぞれ個性的な活動をしていると感心した事がございます。

また、酒井ガバナーに同行した公式訪問は緊張しながらも酒井ガバナーの人柄に触れる大変良い機会でした。羽幌での公式訪問が終り、次の日深川へ向かう時に腰痛を起し、その痛みをおして目的地に向かう姿は任務とはいえ大変な事だと思いました。

一連のクラブ訪問を通して感じた事は、どのクラブも会員増強については厳しい状況にあるという事でした。今後クラブ運営については、工夫が必要になって来ると思し、当然事業のあり方についても考え直していかなければならない時期が来ると思っています。

今年の5月11日に「語りあおう分かちあいの心」と題して第1グループのIMが開催されました。各クラブ全員登録で多数の会員が出席し、成功裡に終了する事が出来ました。

お蔭様で一年間無事に終わる事が出来ました。第1グループの皆様のご指導があった事、そして羽幌クラブの皆さんの支えがあった事と心から感謝しております。一年間本当にありがとうございました。

ガバナー補佐としての一年



地区ガバナー補佐（第2グループ担当）
齋木 達雄（芦別RC）

一昨年10月末に、会長とガバナー補佐経験者に2007-2008年度のガバナー補佐を引き受けてくれとの頼みがありましたが時間的な余裕を取る自信がなくお断りしたところ、時間の都合がつくときだけ出れば良いという事でお引き受けし、2007年1月に次期ガバナー補佐研修セミナーに出席したところ、その席上でガバナーエレクトから非常に大変な役目だからと一括、そのときから大変なガバナー補佐活動が始まりました。

2月に第2回目のガバナー補佐研修セミナーを行い、3月のPETSでは我々次期ガバナー補佐が各セクションに別れ、各会長エレクトに多数の発言を求め、各セクションのまとめを行い報告書を出すというコーディネーターの役目をさせられたことから始まり、第2グループの次期会長・幹事会、4月に函館で地区協議会、6月に新旧ガバナー補佐引継ぎ会議、7月に入りガバナー公式訪問、10月に地区大会を行い、本来ならここで補佐の仕事も一段落のところですが第2グループでは周年行事とIMが残っています。

私のクラブの周年行事、IMを同一クラブで2回行うのは経済的にも大変なことになるので、50周年記念式典とIMを同時開催するに当たり、会長・幹事会で同日に行う事で了承を頂き、2008年5月31日に道内外のロータリークラブ及び第2グループの皆様協力により、芦別ロータリークラブ創立50周年記念行事とIMを早朝よりゴルフ、都市連合会、50周年行事、懇親会を行い無事終了することが出来ました。誠にありがとうございました。

この一年間お世話になりました第2グループの皆様方に深く感謝申し上げ、退任のご挨拶と致します。

やめようと思ったRC踏みとどまった自分



地区ガバナー補佐（第3グループ担当）
安孫子 建雄（江別RC）

思いがけなく補佐を引き受けてあっという間の一年間が過ぎ去ろうとしています。第3グループの各クラブを担当して改めて近隣のメンバーの多彩さを知りました。

2007-08年度は私のロータリー人生の記念すべき年度になりました。不安や苦労の後、にめぐってくる、ほっとした達成感は何ものにも代えられません。2007年の年の初めからの研修にはじまりガバナーからの方針をうけ各クラブとの連絡調整など、次々に行事をこなしただけと思っていたのですが、私にとってこの間多くの新しい発見がありました。

恥をしのんで申しあげれば、ロータリーはインターナショナルであるということを改めて認識した事があります。とかく毎週ホームクラブへ通ってばかりいて身近な存在としてのロータリーしか見ていませんでした。

財団寄付や米山記念奨学会寄付もなんとなく義務として後ろ向きにとらえていましたが、奨学生や交換留学そしてGSEのお世話をしながら国を超えた人間関係にかかわれた事がとても良い経験であり、国際理解を深め国際協調を進めることにつながるのだと思いました。

ロータリーで得られる貴重な考え方はもっと多くの人たちと共有できたらと思います。ロータリーを一部の特別な人々のものにとどめることなく発展させていくのは私たち自身ではないでしょうか。もう少しロータリーにとどまって仲間を増やせればと思えるようになった一年でした。

酒井ガバナーとご縁を結ぶことができたことに心から感謝しております。皆様にまだまだお会いできる機会はあるかと思いますがひとまず退任のお礼を申しあげるしだいでございます。有難うございました。

1年を振り返って



地区ガバナー補佐（第4グループ担当）
若狭 吉範（札幌北RC）

一昨年11月下旬、所属する札幌北クラブの時の会長より電話が入り、次年度のガバナー補佐を受けて欲しいとのことでした。永年札幌北クラブから分区代理、ガバナー補佐を出していない為今回は受けざるを得ないとの事です。困りました。自分のロータリーの知識は勿論、何よりも情熱が足りない事です。併し周りの状況から受けざるを得なくなり、お受け致しました。

其處で永いロータリー歴の中で理事役員、クラブ会長も経験している為、勝手に年間の流れを想定し、第4グループの各クラブに余り迷惑を掛けずに責任を果すべく腹をくくりました。

処がガバナー補佐研修1回、2回、地区チーム研修セミナー、PETSと進むに従って自分が勝手に想定していたものと、ガバナー、地区幹事が進めるそれとは大きな差があることが判りました。アメリカでの国際協議会の進め方やRIが進めているDLP、CLPを実行するとこのようになるとの説明です。ロータリーの歴史の流れを感じさせられた次第です。

2008年2月23日、ロータリー財団トラスティの田中作次氏をお迎えして、札幌東ロータリークラブ、ホストのもとで開催された第4・第5グループ合同のIMでも、ロータリーは大きく変質している事を実感させられました。職業奉仕の哲学がロータリーの看板と信じ、又賛同してる者にとってロータリーはこのままで良いのかと危惧を感じざるを得ない状況です。

ともあれ、ガバナー補佐の肩書きを戴いて1年間多くの方々とお付き合いをさせて戴きました。我が人生には大変有意義な体験をさせて戴きました。関係各位に心から厚く御礼を申し上げ退任の御挨拶と致します。

1年を振り返って

地区ガバナー補佐（第5グループ担当）

関 堂 勝 幸（札幌東RC）



任期終わりに当たりまして、ご挨拶を申し上げます。振り返って見ますと私なりの目標として「ロータリーを理解して奉仕活動を分かち合おう」を掲げて活動を始め、第5グループの会長・幹事様には第1回から第5回までの合同会長・幹事会にご出席いただきまして有難う御座いました。お陰様にてガバナー補佐としての役目と地区行

事に理解を戴きスムーズに活動が出来ました。

又、本年度はクラブ協議会に補佐が立ち会うこととなり予定を合わせて戴き無事に役目を果たせました。お陰様にて各クラブの奉仕活動がクラブの力量に併せて活発に行われていることを実感いたしました。

さらに年度初めにお願い致しておりました第4グループ・第5グループIM(合同のインターシティ・ミーティング)には地区委員会からパネリストの協力、そして各クラブの会長様はじめ会員皆様のご協力により計画通り実施することが出来ました事を心より感謝申し上げます。これもロータリアンの友情と理解からなるご協力の賜と感じております。終わりに各ロータリークラブの発展とロータリアンの益々の奉仕活動をご祈念申し上げまして意は尽くせませんが御礼のご挨拶とさせていただきます。

目標に向かい1年を終えて

地区ガバナー補佐（第6グループ担当）

藤 田 政 昭（小樽銭函RC）



ガバナー補佐役として1年間務めて来ました。ロータリーの原点に立ち、酒井ガバナーの人柄に引かれ、私なりにクラブ及び会員の親睦を重点に頑張ってきたつもりです。ホームクラブの会員、第6グループ各会長、幹事そして会員各位の皆様に変えて大変温かく迎えられ、私としては分区代理を含め3回目のクラブ訪問をさせて戴きました。

分区代理の時から見ると、かなり会員も若くなっておりました。分区代理とガバナー補佐の違いこそあれ、心に残る貴重な一時を送らせて戴いたことに対し、各クラブの会員皆様に改めて感謝と御礼を申し上げます。

第6グループの中では、夫れ夫れのクラブの特性があり、各クラブがクラブの特性を生かした奉仕活動を実践していることがよく解かりました。私が望んだ友情と親睦を深めて人の輪が広がり、有意義な1年でありました。

昨今の社会の中でロータリーの存在感が高く評価される時代が来たと思っています。会員増強の難しさも時代の流れで、それが逆に現在の大きな力になっていると思います。今後、酒井ガバナーの示された教訓を生かし、第2510地区が大きく発展することと思います。

最後に、御教授戴きました酒井ガバナー、第6グループの各会長、幹事、会員の皆様そしてホームクラブの会員の皆様の温かい友情と御支援のお陰で無事に大役を終えることが出来ました。重ねて心から感謝と御礼を申し上げ、ガバナーはじめ、第6グループロータリアンの御健勝を祈念し挨拶と致します。ありがとうございました。

多くの会員の友情に支えられて



地区ガバナー補佐（第7グループ担当）

久野 等（恵庭RC）

第7グループ・ガバナー補佐を引き受けて、短いようで長い1年がようやく終わりましたが、その職責が充分果せなかったと思いますが、今はほっとしております。

酒井ガバナーとの公式訪問、補佐としての各クラブへの訪問、又会長・幹事会等、5月の第7グループの親睦合同例会には、ゴルフ・パークゴルフ大会と懇親会には、大勢のロータリアンの参加を戴き、会員相互の親睦と交流をはかり、ロータリーの友情を深められた事と思います。

各クラブ訪問の時には、会長・幹事、各会員には歓迎をして戴き、又特に夜間例会は色々と楽しませて下さりまして、大いに話が盛り上がり心よりお礼申し上げます。

最後になりましたが、当クラブの会長・幹事を始め全会員の皆様方には、ガバナー補佐としての1年間を支えて戴き無事に退任出来ました事に感謝申し上げ、ご挨拶と致します。

誠にありがとうございました。

ガバナー補佐の1年を振り返って



地区ガバナー補佐（第8グループ担当）

小野 哲弘（様似RC）

第8グループのガバナー補佐を引き受け、大変不安な門出でしたが、あっという間の1年でした。ガバナー公式訪問、クラブ例会訪問、会長・幹事会、2月17日はIMの開催。今、話題になっています「裁判員制度について」の講演を、スライドを使いながら90分致しました。質疑の時間も取り大変好評でした。又、同日午後5時から

私のホームクラブ、様似RC創立40周年記念式典を来賓の皆様、OB、多くの第8グループの皆様ご出席のもと盛会に終える事が出来ました。グループ内各クラブ会員の皆様のご理解とご協力に深く感謝を申し上げます。

私がガバナー補佐をやって一番良かった事は、やはり酒井正人ガバナーとの出逢い。そして第2510地区11人のガバナー補佐との出逢い。さらに第8グループ各クラブの会長、幹事、そして多くの会員の皆様との出逢いでした。これからは第8グループを自分の庭のつもりで各クラブを訪問したいと思っております。

終わりに当たり、前第8グループ・ガバナー補佐の中山弘三郎様には色々教えて戴きました。又、私のクラブに於いては、ガバナー補佐委員会を設置して戴き、田中委員長には常に私に同行、支え戴きました事、誠にありがとうございました。

意を尽くしませんが、第8グループの会員の皆様の温かい御指導、御協力に心から感謝申し上げ、御礼のご挨拶と致します。ありがとうございました。

ガバナー補佐の1年を顧て

地区ガバナー補佐（第9グループ担当）

岩田 弘志（室蘭RC）



ロータリー歴13年で、クラブの会長や米山奨学会で地区の運営一部には触れていたが、昨年1月以降ガバナー補佐として初めて全体の運営に関係する立場となり、幾つかのボランティア団体の役員の立場はあっても、この1年半はロータリーを第一に動いてきたが、それぞれ考えの違うメンバーをまとめて考えている方向に進ませるのは、忍耐と押しと行動力が必要と感じている。

この1年間、テレビや新聞には度々地球環境の恐るべき深刻な状態が報道されており既にアメリカ、中米を襲った巨大ハリケーン、ミャンマーのサイクロン襲来、オーストラリアの大旱魃などの自然災害が起こっている。

一方インド、アフリカ全土に居るマラリア患者3億人、4百万の子供が亡くなっており、エイズの蔓延も叫ばれているのに、RIはもっと早期にポリオからマラリアとエイズ対策に転換すべきでなかったのか。アフリカ、中南米、南アジアの多くの国にこれらの問題が多いのは、遠因に欧州諸国の殖民政策が資源のみの獲得だけで、教育や社会基盤の整備を行わなかったこともあるが、これら諸国は独立以来宗教や部族間の対立で内戦状態が長く続き、教育はもとより産業や社会基盤の整備が遅れたことが原因である。

RI会長が示した活動の重点は依然として水保全、保健と飢餓、識字率向上だけしか取上げておらず、世界の緊急課題である「地球環境対策」や沢山の子供が、働き盛りの大人が亡くなっているエイズやマラリアに全く触れていないのは、メンバーとして我慢ならないRI指導層の無能ぶりである。

この度中国四川省で起こった巨大地震などの世界各地の自然災害に各国が即刻対応出来る体制を作っておくことも緊急の課題である。

日本の各地区ガバナーはRIが示すべき運動方針について、事前に重点課題を協議し積極的に提言すべきであろう。

岩田弘志地区ガバナー補佐は、7月29日に逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

ガバナー補佐退任に寄せて

地区ガバナー補佐（第10グループ担当）

西川 忠弘（函館亀田RC）



早いもので、RI第2510地区、酒井正人ガバナーのスタッフとしてのガバナー補佐の任期が過ぎようとしております。

緊張の中で最初のガバナー補佐会議に臨み、その後PETS、地区協議会、ガバナー補佐のクラブ訪問、ガバナー公式訪問、地区大会、IMと進んでゆくうちに酒井ガバナー初め、他グループのガバナー補佐、第10、11グループの会長、幹事さんとも大変仲良くなり、これがロータリーの友情かと思えるような楽しい1年であったと思います。

私は基本的にロータリーとは信頼できる仲間と楽しく、時にまじめに、親睦を深めることと思っておりますので、今回の経験は生涯忘れられない大きな財産になったと思います。特に第10グループの会長、幹事さんは私の大好きな人ばかりで、すっかり甘えて、何でも皆さんにお任せしてしまいました。籠に乗る人、担ぐ人とよく言いますが、心地よく籠に乗せて戴きました。

関係各位には、紙面を借りて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

この1年のご協力に感謝

地区ガバナー補佐（第11グループ担当）

小野 孝良（函館東RC）



過ぎてみれば早いものです。果して大役を務めることが出来るか不安な船出でしたが、グループ内各クラブ会長、幹事、会員の温かい迎え入れによりどうやらその任を終えることが出来ました。深く感謝申し上げます。

今年度は当グループから15年振りのガバナー誕生です。酒井ガバナーとは曾て会長、幹事会でご一緒させて戴いた仲だけに応分のお手伝いをしようと思気込んで引受けたものの逆に迷惑をかけてしまいました。ガバナー訪問を3クラブ合同で開催するところ、1クラブの会長・幹事が突然欠席したため、そのクラブの例会が成立せず、改めて当該クラブを訪問することとなったのです。地元出身のガバナーであればこそ出来た対応でした。

地区大会は15年振りにガバナーの出身地函館で開催されました。地区内ロータリアンには南端の地まで足を運んで戴きご苦勞様でした。お陰で盛会裡に終えることができました。この大会の諸準備を担当された函館五稜郭ロータリークラブの皆様には心から労いの言葉を申し上げます。

当グループのIM開催に当たっては当初、地区大会で物心両面の負担が大きかったので中止してはとの声もありましたが、そこはロータリアン、ガバナーの立場を勘案して開催することとなりました。主題は「ロータリーの勉強会」、基調講演は酒井ガバナーの「ロータリーに求めるもの、ロータリーが求めるもの」でした。この後グループ討論を行い、参加者にはロータリーの基礎知識を教わったと好評でした。ガバナー補佐の専権事項であるIMが成功裡に終えたことを第10グループ西川ガバナー補佐と共に安堵し合ったものです。

最後に素晴らしい第11グループ、ロータリアン皆様の温かいご支援、ご協力に重ねて感謝とお礼を申し上げます。

退任のご挨拶

地区ガバナー補佐（第12グループ担当）

高橋 寛（苫小牧北RC）



昨年の1月にガバナー補佐に任命されて、初めは私がガバナー補佐という大役を1年間やっていけるかと不安でした。

それでもガバナー補佐研修セミナー、PETS、地区協議会等で、酒井正人ガバナーから強かに指導されたおかげで、なんとか1年間無事に終わることができました。

この1年間で印象深かったのはGSEメンバーの受け入れとIMの開催でした。マレーシアからのGSEメンバーは、第12グループの協力のおかげで、大変楽しく過ごさせてもらいました。特にイスラム教の儀式であるラマダンを初めて体験したことでした。留学生たちが皆で食材を調達して、私たちに料理を振舞ってくれて、マレーシアの民族衣装を身にまとい歌と踊りを披露してくれました。一生、心に残る思い出となりました。

また、IMは今までのスタイルとは違って、全員討論に参加して戴き、ロータリーの未来について話し合うことができ、実のあるものになったと思っています。

1年間応援を戴きました第12グループの会員の皆様には心から感謝申し上げます。

地区委員会委員長ご挨拶

地区会員増強委員会報告

地区会員増強委員会

委員長 丸山 淳 士 (札幌真駒内RC・PG)



例年8月は年度初めでもあり、会員増強月間となっている。

今年度は数クラブから会員増強に関する卓話の依頼があった。数年前から、全国的に会員減少傾向が止まらない現状がある。特に日本と米国における会員減少が目立っている。日本での減少の大きな原因は経済の停滞に寄るところが大きい。

しかし、私たちが会員になったのも、熱心な勧誘によるところが大きく、率先して会員になった人は少ないであろうと思われる。従って、会員増強の一番要は各会員の熱心な勧誘行動が基本である。

会員がロータリーライフを如何に楽しんでいるか、如何に意義を感じ取って行動しているかが根底にあるものと思われる。増強セミナーや地区委員会が増強を絶叫しても効果は上がらない。各クラブが実のある楽しい活動を展開していれば、自ずと道は開けてくるものである。

ロータリアンほど個性を大事にする集団はないと思っている。いろいろな個性が「モザイク」となり全体として美しく輝いている。1業種一人という最初の考えがそれを表しているものであろう。

自分の個性を押しつけるのではなく、いろんな個性を幅広く受け入れて、いろんな奉仕の形があることを学び実践することが自分を大きく成長させ充実した人生を創り出していくものと思っている。

一緒にロータリーの楽しみを味わうことが出来る仲間には是非積極的に話しかけることが必要です。

オン・ツー・ロサンゼルス委員会報告

地区オン・ツー・ロサンゼルス委員会

委員長 塚原 房樹 (札幌東RC・PG)



2008年、RI国際大会は6月15日から18日まで、アメリカのロサンゼルスで開催されました。当委員会では、Aコース（大会参加とロサンゼルス5日間）とBコース（大会参加とメキシコ周遊8日間）の2コースを企画しました。

札幌東RCの会員を中心に両コース合わせて約30人が参加されました。あいにく私は腰痛のため急きょ参加できなくなり、副委員長の丸山PGに団長の大役を押し付けてしまいました。丸山PGと参加された皆さんに深くお詫び申し上げます。参加者全員国際大会の場で、各国のロータリアンと親睦を深められ、無事に帰国されたとの知らせを受け喜んでおります。

委員長としての任務を全うできなかったことを再度お詫びして退任の挨拶とします。

地区文献資料室活動報告



地区文献資料室

委員長 肘 井 博 行 (札幌手稲RC)

1. 地区文献資料室には、ロータリーを紹介するビデオテープ80本、同じくスライド20セット提出文庫約200冊を備えております。地区レベルでこうした文献を所持、そして各クラブに利用を供している組織（委員会）を有しているのは全国でも稀少であります。
2. 今期、各クラブの利用状況は次のとおりです。

2007～2008年度 R I 第2510地区文献資料室（2008.6.9現在）

【ビデオ貸出し状況】

No.	タイトル	貸出数	クラブ名
1	ようこそロータリーへ	4	室蘭北②、岩見沢東、留萌
3	ロータリー財団	3	栗山、岩見沢東、千歳セントラル
4	それはあなたに始まる	2	栗沢、深川
5	最も重要な人物	3	室蘭北②、留萌
6	相違が生じるか	1	深川
7	世界社会奉仕	1	美唄
11	ロータリー入門	3	室蘭北②、留萌
12	ロータリーの歯車たち	1	栗沢
13	約束を果たす道	1	美唄
14	ロータリー紹介	3	室蘭北②、留萌
15	ザ・ロータリアン善意の歴史	1	赤平
16	万物の共有財産地球を守ろう	1	美唄
18	ポールハリスの生い立ちと信念	3	室蘭北②、留萌
19	われらのつとめ 四つのテストとは何か	1	余市
20	シルバーライフのニューデザイン	1	留萌
22	水漫々…米山梅吉その生涯	1	岩見沢東
23	堅固な財団	2	札幌東、芦別
29	ロータリーニュースネットワーク I	1	留萌
30	ロータリーニュースネットワーク II	1	留萌
35	(財)ロータリー米山記念奨学会	2	留萌、岩見沢、
37	憶えていて下さい～ロータリー災害の救援	1	留萌
39	渋沢栄一翁とRCの職業奉仕	1	栗沢
41	活動するロータリー 災害救援	2	留萌、札幌幌南
42	活動するロータリー 保険と治療	1	留萌
43	活動するロータリー ボランティア	1	美唄
45	ロータリー財団：ロータリーの国際的ビジョン	3	札幌東、栗沢、千歳セントラル

46	人類は大地に属する	1	留萌
47	ローターアクトの活躍	2	岩見沢②
48	インターアクト・奉仕の仲間	2	岩見沢②
49	広報；活動しているロータリーのイメージ	2	栗山、札幌清田
50	奉仕の物語	2	札幌真駒内、深川
56	ポールハリスの生い立ちと信念 第2巻	3	室蘭北②、留萌
59	新世代のためのロータリープログラム	3	岩見沢②、札幌真駒内
61	活動する国際奉仕 WCSに関するビデオによる研修	1	栗沢
62	タイ・ノンカイRCとの共同奉仕（WCS）	1	岩見沢
88	米山月間によせて	1	芦別
104	ロータリーとは	1	芦別
109	国際親善奨学金プログラム	1	静内
111	ポール・ハリス・フェロー：世界中で善行を行う人々	3	静内、新札幌、千歳セントラル
113	ロータリー財団：参加しよう	2	静内、新札幌

【図書貸し出し状況】

068	ロータリーの理想と友愛	1	札幌手稲
-----	-------------	---	------

【その他貸し出し状況】

ロータリーソングCD	1	札幌南
ロータリーソングカセットテープ	1	札幌南

3. 今年度の地区大会で、ガバナー、パストガバナーにロータリアンの学習すべき必須文献として、下記の文献を推薦していただきました。

	文 献 名	著者ないし編集者	推 薦 者
1	ロータリー・モザイク	ハロルド T. トーマス著	塚原PG、丸山PGご推奨
2	ロータリーでいう職業奉仕	神守源一郎著	塚原PGご推奨
3	ロータリー・クラブ ーその理論と実態と批判ー	小堀憲助著	塚原PGご推奨
4	ロータリー通解	ガイ・ガンディカー著	塚原PGご推奨
5	ロータリー思想の理論構造	小堀憲助著	塚原PGご推奨
6	わがロータリーへの道	ポール・ハリス著 鈴木徹・竹山涼一・若佐武司共訳	丸山PGご推奨
7	点描「米山梅吉」	谷内宏文著	丸山PGご推奨
8	ロータリー哲学	アサー F. シェルドン著	丸山PGご推奨
9	ロータリー情報マニュアル2007	RI2650地区 瀧上勝夫編集委員長	丸山PGご推奨

4. 次年度は、各クラブの利用状況についての経験交流を活発に行いたいと思いますし、またロータリー文献の合同学習会など実施できればと考えています。

地区クラブ奉仕委員会報告



地区クラブ奉仕委員会

委員長 堅 田 進 (伊達RC)

R I テーマ「ロータリーは分かちあいの心」を基に活動計画を作成検討してきました。今年度も引続き、DLP、CLPの理解を深めると共に、将来的な視野に立ち、即全面的に移行するのではなく各クラブの自らのクラブの分析を行い、各会員の理解を得て行わなければならないと思います。また今日までのロータリーの形式を否定するのではなく、クラブの存続、クラブの発展、クラブの活性化のために考慮していくべきと思います。

クラブの会員が百名を超えるクラブであれば、数多くの委員会も成り立ち、委員会も活発に活動できます。しかしそれ以下の特に50名以下のクラブは、委員会の見直し、統合など組織の考え方、CLPの研究を始めても良いのではないかと思います。

委員会の数を少なくし、奉仕委員会を少なくし、とは考えず、自らのクラブの在り方から検討してみてください。

これに対応する地区の組織の在り方も同時に進行していかなければならないですが、その対応が遅れているように思われます。

今ロータリーの変革の時代にあると思われます。百年を超えたとはいえ、その変化があまりにも激しすぎているように思います。ある一面、本来のロータリーではなくなっているように感じるのは、私だけではないのではないだろうか。

今年の地区協議会では、山本次期委員長を中心に分科会を開催しました。CLP並びに例会の持ち方、単に面白おかしくするのが例会ではなく、率直な意見の交換や職業観、人生観を得る貴重な時間でもありますので、是非例会に出席してください。

山本副委員長はじめ各委員の皆様を支えられ楽しい委員会でありました事を申し上げ、心より感謝申し上げます。

地区IC委員会報告



地区IC委員会

委員長 坂 井 治 (千歳セントラルRC)

今年度は4回の委員会、地区大会ブース出展、11月と4月には「5分で出来るホームページ講習会」を開催しました。

このシステムをご利用いただき3クラブ、1地区委員会、ガバナーエレクトのページが新たに開設されました。この結果2006-2007年度のホームページ開設クラブは25クラブでしたが、2007-2008年度は28クラブになりました。IC委員会のホームページも本来の機能を持ったものにリニューアルしました。

現在さらに1クラブと地区2委員会が製作中とお聞きしています。(いずれも講習会で使用しているブログを使ったシステムです)

また本年度は6クラブで卓話をさせていただきました。

メールマガジン、メーリングリスト登録のお願い、地区ホームページ閲覧のお願いなどと合わせてクラブ情報の発信のためのホームページの開設のお願いや微力ながら、クラブの経費節減のためのIT活用のアドバイスなどをさせていただきました。

地区ホームページの閲覧数も5月末現在で約12000件となりすでに昨年度一年間の閲覧数の11477件を超えました。次年度以降も「ホームページ講習会」の開催などを引き続き行っていく予定になっていますので今後どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

皆様のご支援をたまわり無事任期を全うできましたことをお礼申し上げます。

1年を振り返って

地区米山記念奨学委員会

委員長 大石 春雄 (札幌はまなすRC)



昨年7月に第1回委員会を開催しもう1年が過ぎようとしています。酒井ガバナーの方針により委員会の行事にはガバナーはもとより、ガバナー補佐にもご出席頂くよう連絡致しましたところ、多くの皆様に出席頂き有意義な委員会活動が出来ました。9月15日に行われました米山奨学生の研修旅行では、小林昌志委員(札幌南RC)と半田善行委員(小樽RC)の計画により、小樽水族館見学の後小樽湾クルーズ。4艇のクルーザーに分乗し、小雨ふりしきる海上を波しぶきを上げてのクルージングは全員が大喜びでした。クルーザーをただ同然で提供して下さいました小樽RCの会長始め、会員の皆様に心より感謝を申し上げます。又今回も丸山淳士パストガバナーのご厚意によりバスを提供して頂き楽しい1日を過ごすことが出来ました。心優しきロータリアンに触れることが出来、この委員会に今いることの喜びを感じた1日でした。

1月12日には、次年度の奨学生選考試験、16名の奨学生を新しく迎えることになりました。しかし別れの季節でもありました。2月24日、2008年終了者の歓送会では、奨学生となった喜びと世話クラブ、カウンセラーへの感謝の言葉と共に新天地に向け羽ばたいて行った15名の奨学生。今後の活躍に期待！！

酒井正人ガバナー、伊藤長英常務理事、山下信行副委員長を始め、米山記念奨学委員皆様に心よりの感謝を申し上げます。

米山学友委員長の役割を終えて

地区米山学友委員会

委員長 米谷 龍三 (札幌東RC)



今から約3年前、私は地区米山学友委員長を委嘱されました。多くのロータリアンが感じたであろう、初めての経験に戸惑いを感じながら、活動を開始致しました。初代委員長である、小樽南RCの見延庄三郎さんの、熱意のこもったきめ細やかなご指導により、様々な問題も克服できたことは、私にとって大きな自信につながりました。“師匠”である見延様に心から感謝を申し上げます。

米山学友会は、米山奨学受給期間を終了後、引続き米山学友会会員としてロータリアンと共に、各地区で開催されるイベントや家族懇親会などに参加し、交流を深める組織です。日本の他には、現在、台湾と韓国に組織されておりますが、米山奨学会(本部)との連携もスムーズに行われており、最近では、東京で中華民国扶輪米山会とのシンポジウムが開催されております。

米山学友会の活動の中で、会員として私が強く印象に残ったお二人をご紹介します。

黄詩淳さん

台湾のご出身で、現在北大法学部助手で、8月にはハーバード大学へ留学予定です。米山奨学生として、2006年9月、台北で行われた「思考日本留学」というシンポジウムでは、パネリストとして中心的な役割を果たしました。彼女の素晴らしさは学業にとどまらず、日本に於ける様々なシンポジウムにも積極的に参加、その人柄の良さはロータリアンからも多くの信頼を得ています。

李英愛さん

2002年の奨学生として韓国から来日。学友会員として現在北海学園大学講師。第2510地区とのつながりは深く、韓国との記念行事や公式行事には通訳として活躍され、歴代のガバナーからは常に、その活躍ぶりに称賛を得ております。

お二人に共通している点は、単に抽象的な「架け橋」を論ずるだけでなく、心から奨学制度に対する感謝の気持ちを、行動で表している点ではないかと思えます。私としても、学友会の活動に参加でき、本当に良い経験ができたことを嬉しく思っております。

最後になりますが、2008-09年度から新委員長として、私と同じクラブの村上淳さんが引き継ぐことになりました。今後とも宜しくお願い致します。

地区職業奉仕委員会報告

地区職業奉仕委員会

委員長 土 谷 享 (札幌幌南RC)



RI会長のテーマ「ロータリーは分かちあいの心」と、酒井ガバナーの地区目標「奉仕を分かちあいましょう」に従い、ロータリーの根幹ともいえるべき「超我の奉仕」の理念に基づいて、各クラブで、各自の職場で、各地域社会で「職業奉仕」の普及と実践の呼びかけをいたしました。

今年度の活動の成果として

- ・昨年度は、地区内各クラブの会員の中から職業奉仕を通し、地域社会に貢献された事例とか、委員会活動についてのご報告の寄稿をお願いし、それを小冊子にまとめ発刊し、各クラブ、各関係機関に送付しました。今年度は、そのような地区内各クラブの職業奉仕活動を参考にされながら、それぞれのクラブで、それぞれの考えと方法で、会員に職業奉仕の意識と実践が高まるよう、職業奉仕に関する「クラブ・フォーラム」、「勉強会」や行動を奨励しましたが、各クラブで多くの実践をいただきました。
- ・前年度に引き続き今年度も、地区内各クラブから多くの「職業奉仕」に関する「例会卓話」の要請が入りましたので、地区委員で分担して11クラブで要請に応えさせていただきました。ありがとうございました。

この1年をふりかえって

地区社会奉仕委員会

委員長 小 山 秀 昭 (札幌手稲RC)



社会奉仕活動は会員が自ら行う奉仕とクラブ会員全員が行う奉仕とがありますが、いずれの奉仕も地域とロータリアンが地域住民のために役立つ奉仕活動であることが大切です。

各クラブはそれぞれの地域に必要な活動をしております。

本年度を含め3年間に亘り各クラブの社会奉仕委員会の「活動計画書」を取りまとめ小冊子にして、それを基に地区内を4ブロックに分け意見交換会を行い、他のクラブの活動を参考としていただきました。それぞれのクラブでロータリアンと地域の皆さんが一緒に行事を行い、地域に密着した事業を行っていることに頭の下がる思いでありました。

また、子ども奉仕活動の「出前事業や職場体験」に「ロータリークラブ協力会員」にご登録いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

懸案でありました、「ロータリークラブ協力会員名簿」のIT化についても、各会員様から「個人情報公開」のご承諾を得て、今後この事業を引き継いでくださる地区職業奉仕委員会と打ち合わせの上ホームページを立ち上げ、その中に載せて第2510地区ホームページとリンクして、閲覧出来るように致しました。

この一年間、地区委員会は各クラブ委員会の活動に必要な情報を提供することを目標にしてまいりましたが、ご期待にお応えできなかったところも多々あったらこうと思っております。

ご協力いただきましたクラブ社会奉仕委員会の皆様に感謝申し上げます。

地区世界社会奉仕（WCS）委員会報告

地区世界社会奉仕（WCS）委員会

委員長 出村 知佳子（札幌北RC）



委員長初年度であります今年度の目標は、地区内各クラブの皆様へWCS事業の素晴らしさを少しでも御理解頂き、意義あるWCS事業に御参加を頂く事でした。地区協議会分科会にて、酒井ガバナー、国際分科会担当委員長の皆様へ御理解を頂き、WCS活動についての説明をする貴重な時間を頂き、また各クラブの皆様へ卓話にお招き頂き、多くのクラブの皆様へWCS事業についての御理解を頂き今年度は16のクラブの皆様へ事業へ御参加を頂く事が出来ました。

御存じのように、WCS事業は現地ニーズを探り現地ロータリーと共に事業を進めるわけですが、それぞれの国、地域で各々の問題ニーズを抱え、事業の方法、支援の仕方はそれぞれ。同じ水事業であっても、井戸、浄水システム、小さなダム、パイプ等有効な事業夫々です。しかし、そこに暮す人々にとってベストな事業でなくてはなりません。それを現地ロータリーと共に実践でき、この目で現地の方のきらきら光る瞳を見ることのできる喜びは、私達ロータリアンにとって至福であります。ニーズを探って、調査をし、事業を実施し、検証し、またそれが最終的にニーズあったのかを確認していくWCS事業は、寄付団体ではなく奉仕を実践するロータリーの形であると信じて止みません。それを御理解頂くにはWCS委員会の広報の仕方が大変重要であり、より良い広報を次年度の更なる目標として行きたいと思っております。

最後に、この実践していくロータリーのWCS活動に御理解を頂き、実践して頂きました酒井正人ガバナー、いつもこれに努力を惜しまないWCS委員、国際合同委員会メンバー、そして事業に御参加を頂き、また共に検証ツアーに御参加を頂きました各クラブの素晴らしいメンバーの皆様へ深く深く感謝をし、年度終了のご挨拶とさせていただきます。

本当にありがとうございました。

地区国際友好委員会活動報告

地区国際奉仕委員会

委員長 矢橋 温 郎（札幌西RC）



当初の活動計画では、ローターアクト、インターアクト、青少年交換、GSE交換等、主に新世代を中心とした友好関係の他に東京で成功している女性会員同士の交流を実現したいと考えていた。

計画通りにはいかなかったが、お互いに地区大会に於ける交流を主とし、10月の函館大会には張益鉉総裁御夫妻を始めとする27名の来訪があり、4月の大邸での第3700地区大会には当方から酒井正人ガバナーを含め12名の出席があった。

先方第3700地区から再三に亘りGSEの交換を求められたが、当方の都合によりお断りをする事になり大変残念であった。

次年度から国際友好委員会は国際奉仕委員会に担当者を置き廃止されますが、姉妹地区韓国第3700地区との活発な交流を今後も望みたいと思っております。

地区新世代委員会活動報告

地区新世代委員会

委員長 松見 修二 (函館北RC)



地区新世代組織図のくくりは、インターアクト委員会、ローターアクト委員会、青少年交換委員会が有ります。それぞれの委員会は独自の基本的計画に沿って活動をしているので地区新世代委員会は、これらの委員会の活動調整を行なうものと理解していましたが、現実には地区内の各クラブが新世代、或いは、新世代に関連した社会奉仕をどのように推進しているかを知ることがより重要であると思われ、次の三項目を

重点事項として当初の計画に挙げました。

1. 新世代のプログラムをロータリアン一人ひとりに広く理解して頂くことに努める。
2. 次世代を担う新世代の人々に今、ロータリーは何をすべきかを検証します。
3. インサイドワークを充実してアウトサイドワークへ拡大を図ります。

この三点を検証する手法として、上半期が終える時点で各クラブへ新世代関連と思われる報告書、或いは下期に予定される計画書の提出を求めました。

その結果は地区内73クラブ中32クラブからの報告がありました。これらの結果報告書は各クラブへ送達いたしましたが、未だ手元に届いていないクラブが有りましたなら、地区へ申し出てください。総じてスポーツ少年団に乗じた活動が多くを占め、何れも継続事業と思われ。各クラブは会員減少に伴いクラブ予算が窮屈となり、クラブによっては新世代委員会が無いクラブが有ることも視えます。

いま、ロータリーが地域の子供たちに何ができるか、なにが必要かを考え、プログラムを再構築する時期に来ているものと思います。

次にインターとローターの現状について少し記述します。

何れも提唱クラブに起因することが浮上しています。インターについては顧問の先生が指導しているので比較的順調に活動しているやに見受けられますが、提唱クラブは実情を把握しているのでしょうか。より確かな情報と実情を検証願います。

次にローターについては、インター同様に提唱クラブがその存在性をどのように理解しているのでしょうか、特にローターは大人の青年男女で構成されています。彼らは親クラブをどのように理解しているのでしょうか、今一度、コミュニケーションを諮ることが肝要です。これらは理想と現実、実像と虚像を見るように思われます。

活動報告にならないものと成りましたが何れもクラブが基本であり各クラブの計画は現状を捉えることが大切です。今後も皆様のご理解とご協力をお願い致します。

地区青少年交換委員会報告

地区青少年交換委員会

委員長 宮崎 善昭 (札幌西RC)



今年度も新世代、国際奉仕ロータリアン、派遣生在籍高校、日本語ボランティア、ホームステイの関係者の皆様にご協力、ご尽力いただき無事事業を終了することができ感謝申し上げます。

委員長3年目を迎え、委員会活動の組織化、システム化を目指して活動してまいりました。

青少年交換事業は、18～20歳までのロータリアンの子女が参加できる唯一のプログラムで、参加者が留学先でロータリー精神が世界各地で如何に実践されているかを体感し、自らの国際理解、人間理解の経験を深め、生き方を見つめる絶好の機会であると思います。これは国内にあっては決して経験のできない、ロータリーの絆によるプログラムで、未来のロータリアン育成にもつながるものであると思います。生え抜きのロータリアンを育む努力は今後とも地区とクラブが協働して継続していきたいものです。

地区において最も忙しい委員会の一つではありますが、各委員は事務局と共に役割に応じて主体的に機能を果たし青少年交換活動全体が円滑且つ、効果的に行われましたことを最後に申し添えます。

この1年を振り返って

地区インターアクト委員会

委員長 戸部アナマリア (札幌はまなすRC)



この1年間インターアクト (INTERACT は INTERNATIONAL ACTIONの略) 委員会の委員とスポンサークラブの皆様は、インターアクトクラブ (IAC) の顧問の先生及インターアクターの方々と交流を重ねることにより、ロータリーの奉仕活動についての理解を深めてもらう事でIACの活動が更に活発になり発展していくように努めました。又、この間酒井ガバナー、松見新世代委員長外、多くのロータリアンの方々のご指導、ご協力を戴きました事に深く感謝している次第です。ありがとうございました。

ご承知の通りIACは14歳から18歳迄の青少年で構成されており、ロータリーが提唱する奉仕クラブでインターアクターを意義ある奉仕活動に参加する機会や国際理解と親善の活動を通して指導力と誠実な人格を育成する機会を与える組織です。

ここで簡単ですがIACの歴史を述べさせて戴きます。世界で最初のIACは1962年10月にアメリカ・フロリダ州のメルボンRCがメルボン高校の協力のもと創立。日本では1963年6月に仙台東RCが仙台育英高校に、北海道は1963年12月に旭川西RCが道立旭川西高校にIACをつくっています。現在の第2510地区でのIACは1965年5月に室蘭東RCがスポンサークラブとなり室蘭大谷高校に創立したのが最初となります。当地区の現況ではIACは9クラブ、スポンサーRCは8クラブ (静内RCが2クラブのスポンサーRC) で立派に活動しています。

後日、本年度の当委員会で作成した海外研修旅行及年次大会の報告書を配布致しますので、ご一読戴ければインターアクター達の素晴らしい活動がお分かり戴けると存じます。

最後になりましたが、この歴史ある当地区のIACへの積極的なご支援、ご協力を戴きたくお願い致します。

酒井年度の終了にあたって

地区ロータリー財団委員会

委員長 岩城 秀 晴 (札幌南RC・PG)



私にとっては、財団委員長として初めての年度でありまして、無我夢中で財団の仕組みを理解するのが精一杯といったお粗末な委員長であったと自己反省を致しております。然しながら会員の皆様には、財団の金の流れを「ロータリー財団への寄付金の行方」をハンドブックの最後のページに掲載されておりますものを少し拡大して見やすくしまして理解して戴くように致しまして、皆様方からの貴重な寄付金についての御説明を致しました。

寄付金を大別しますと

1. 恒久基金へ寄付
2. 年次寄付
3. 使途指定寄付

となりますが、総収入は2億388万ドルとなっております。それを更に大別しますと寄付が56%で投資収益は44%で成り立っているようです。(2006-07年度)

財団の総支出は、1億3780万ドルで、そのうち1億1880万ドルがプログラムに充てられています。プログラム別の使用割合は

- | | | | |
|----------------|-----|----------------|-----|
| 1. 人道的補助金と運営 | 39% | 2. 教育的プログラムと運営 | 22% |
| 3. ポリオプログラムと運営 | 19% | 4. その他のプログラム | 6% |
| 5. 運営費 | 14% | | |

以上、概念的な数値を述べましたが、当地区としては、

- ①国際親善奨学金委員会には14万ドルを使用して7名を選抜しております。
- ②GSE委員会は清水チームリーダー外5名の団員がマレーシアとの交流に成果を納めて参りました。
- ③補助金委員会につきましては、人道的な社会奉仕事業の補助金をクラブからの申請がありましたので、その補助金を支出しました。

その他、ロータリー財団地域セミナーが2007年7月18日に開催されましたので出席し、財団の研修を受けました。

以上、この1年間の概要を皆様方の御指導を戴きながら遂行致しましたので、感謝を申し上げながら報告と致します。

今期GSEプログラムを終えて

地区GSE委員会

委員長 岡崎 芳明 (小樽南RC)



今期GSE委員会の事業はRI第3300地区とのGSE交換プログラムでした。決定していた派遣リーダーがご病気のため派遣リーダー不在となり、急遽長沼RCの清水慧子会員に当地区最初の女性派遣チームリーダーとしての大役をお引き受け頂きました。

マレーシアの地区大会が当地区と同じ10月に行われる為に、短い期間の派遣チームの研修を経て10月の函館地区大会が終わった次の日に約28日間マレーシアへ出発しま

した。

国際人として一回り以上大きくなり帰国した派遣メンバーからはRI第3300地区での歓待の様や、今後のGSE活動に役立つ意見を聞く事が出来、派遣の成果を頼もしく感じております。これからはGSEプログラムで受けた経験を生かして地域に貢献して頂きたいと思っております。

また受け入れたRI第3300地区からのGSEチームは120人の中から選ばれた優秀な4人で有った事もあり、素晴らしい人達ばかりでした。当地区内のロータリアンの皆様とすぐにうち解け、地区内にマレーシアの涼風を吹かせて帰国していきました。

地区内の評判も良くロータリアンの方々と親交を深められた事は、国際親善の上においても地区と地区との相互理解の上でも大変効果的であったと思われまます。リッキーチームリーダーはじめチームメンバーの聡明なスピーチや規律正しい行動はこれからのGSEプログラムを考える上でも参考になりうる重要なポイントでした。

今回のGSEプログラムを終えて色々考えさせられる点多々ありました。

現在わが地区では地区予算の関係と派遣メンバーが1ヶ月以上仕事を休まなければならないと言う事情で、最低実施期間である4週間のプログラムをおこなっていましたが、規定で滞在中の職業研修プログラムは最低5日間と決められております。4週間の受け入れで4グループの担当では、どこかのグループに2日間の職業研修プログラムを作って頂かなければ規定を満たせまいという問題があります。今回は函館RCの小林コーディネーターにご無理を申し上げ、2日間の職業研修を作って頂きました。本当にありがとうございました。やはり5週間の受け入れ派遣を視野に入れて検討すべきと思われまます。

又RI第3300地区のメンバーは120名から選ばれた4名と聞いております。国としての違いも有りましようが、我が地区は10名に満たぬ応募者の中より5名という状況です。派遣メンバー募集方法を再考すべきです。その他派遣国の言語をもう少し勉強すべきだとか、プレゼンテーションは長いものより短いものが必要だとか、正装のジャケットばかりではなく、ロータリーマーク入りのTシャツやポロシャツなどの軽装も必要な様です(今回は小林コーディネーターの機転で揃いのTシャツを送って頂きました。ありがとうございます)。また、アトラクション(歌や踊り楽器演奏など)も日本文化を紹介し親交を深める意味においてかなり重要であるという事が分かって参りました。

今回のプログラムは酒井ガバナーがノミニー時代より函館での地区大会を念頭におき計画したプログラムでした。受け入れ中心と思われがちなGSEプログラムを、派遣メンバーを函館地区より募集する事で、受け入れと派遣が有ってこそGSE交換というイメージを我が地区に知らしめる事が出来ればという期待を持って行いました。

この度も当地区内のロータリークラブの皆様には本当にお世話になりました。特に派遣団員をご推薦して下さった札幌清田RC、札幌幌南RC、函館RC、函館五稜郭RC、北斗RCの皆様には札幌と函館という距離の為に色々ご負担をお掛けしました事、申し訳なく思うと共に心より御礼を申し上げます。

又受け入れをお引き受け頂いた札幌清田RCをホストRCとした第4・第5グループの関係RCの皆様方、江別RCをホストRCとした第3グループの関係RCの皆様、苫小牧北RCをホストRCとした第12グループ内の関係RCの皆様、最後に函館RCをホストRCとした第10・第11グループの関係RCの皆様方には改めて心より御礼を申し上げます。

後先になりましたが、丸山パストガバナー、酒井ガバナーはじめ地区関係者の皆様、受け入れグループのガバナー補佐の皆様、併せて受け入れコーディネーターの皆様等には多大なるお力添えを頂戴いたしました事に対しまして、篤く御礼を申し上げます。どうぞ地区と地区との親睦や地域に貢献できる人間を育てるGSEプログラムに、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます、皆様からのご協力に対し御礼を申し上げます。

この1年を振り返って



地区国際親善奨学金委員会

委員長 菅原 秀二 (札幌大通公園RC)

瀧川前委員長より委員会をあずかって、1年間が過ぎ、あと残された行事は2008-09年度の奨学生の壮行会を残すのみとなった。ちなみに、壮行会は年度末の6月には国際大会などの行事で、ガバナーや要職にある方々が出席できないので年度明けの7月5日に開催される予定である。

引継ぎの前に、2年ほど委員をやらせていただき、前委員長からは実に整理された資料をいただいたので、当初、あまり不安は感じなかった。しかし、実際にやってみるとかなりの量の書類仕事があり、またロータリー財団の本部や東京の財団室にも問い合わせなければならないことなどが出てきて、結構大変であった。前委員長の苦労を実感した次第である。

ただ、残念だったのは2009-10年度の奨学生の応募が思ったより少なかったことである。特に、文化研修の応募者がいつになく少なかった。この点に関して、次年度は各クラブの一層のご協力をお願いしたい。

いずれにせよ、まだ1年間ではやめるわけにもいかず、もう少しこの仕事を続けさせていただく。今後は前委員長が整備されたシステムを引き継ぎながら、私自身の改良も加えていけたらと思うと同時に、私自身が奨学生の出身であるという利点を活かすべく、財団学友委員会や財団学友会との協力もなお一層進めていこうと考えている。引き続き、当委員会へのご支援をいただければ幸いです。

地区財団学友委員会報告



地区財団学友委員会

委員長 高橋 宣充 (札幌清田RC)

ようやく年度末を迎えることとなり少しほっとした気持ちと、次年度も委員長を担うことになり、新たに気を引き締める時期でもあります。今年度は地区の皆様方、学友の皆様には大変お世話になりました。まだ委員としても経験が浅い私ですが、どうか皆様方に助けられながら活動ができました。

まずは本年2月2日にルネッサンスサッポロホテルで行われた「第4回帰国財団学友報告会」がロータリアン、学友、派遣候補者など懇親会も含め64名の参加により盛会に行われましたことを厚く感謝する次第です。国際親善奨学生・文化研修奨学生4名の報告に続き2007-08年GSEチーム報告がありました。演者の海外留学での経験は人生を変えるものになったであるとか、ロータリーのおかげで初めての留学の不安も随分軽減されたとの声が聞かれました。岩城地区財団委員長より講評を戴き、酒井ガバナーよりはもっと多くの奨学生の声を知りたいのでこれからも発表の機会を増やすようにとの御指示を戴きました。このような貴重な体験をしてきた学友をもっとロータリアンに知っていただき、このプログラムの素晴らしさを次世代へと継承するべく委員会も動かねばと思った次第です。詳しい内容は学友会ニューズレターを発行しておりますのでご覧下さい。

当地区の財団学友会が発足して今年7年目となります。当地区には40年余りの間に300余名の学友を輩出しております。道内にはおよそ半数あまり在住していると思われまますので、今後も学友と連絡、情報を密にして活性化に努めて参りたいと思っております。おりしも先の規定審議会により財団学友が条件を満たせば正会員となる資格が認められた訳ですから、今後もロータリー活動をもっと理解する機会を多くすることは、将来会員増加につながると確信しております。それぞれのクラブで学友との交流を図り、会員として参加していただく形がよりよいロータリーの発展に結びつくと思っておりますので、各方面のご理解を戴きたいと思っております。今後とも財団学友会活動への支援、ご協力を宜しくお願いいたします。

地区補助金委員会報告

地区補助金委員会

委員長 朝倉 正人 (札幌東RC)



この第2510地区には73のRCがありますが、各クラブでは日頃より社会奉仕活動、各奉仕活動を実行していますが、クラブ独自の奉仕活動、地元地域に密着した活動、又自ら会員が汗を流す活動に対して、支出、補助させて頂きました。

クラブでの卓話を1回、セミナー等で広報活動をさせて頂き、少しずつクラブにおいて認識されて来ていると思います。

酒井ガバナー、岩城ロータリー財団委員長、八木補助金監督委員長の出席を頂き、委員会を2回開催し、各クラブからの活動計画書・申請書が提出され、目安となる基準を考慮し、厳正かつ公正に審査致しました。

今年度は31,000ドルの予算でございましたが、9クラブ10件の申請があり、検討の上支出致しました。活動内容はサッカー大会、家族奉仕、植樹等の活動が見られました。コンサートを計画し、承認された活動がございましたが、サミットの警備で多忙ということで中止になったのが残念です。

又、出村WCS委員長より、久しぶりにマッチング・グラントの要請があり、委員会として協力出来ました。支出額を早く各クラブへ連絡するよう考え、作業をして参りました。

多くの活動申込書が提出されることは、活発に奉仕活動が実行されていることなので、今後ともこの委員会を理解して、活用して頂きたいと思います。

韓国3700地区 地区大会に参加して

国際ロータリー第2510地区

パストガバナー 丸山 淳 士 (札幌真駒内RC)

2004年、遠藤秀雄地区ガバナー年度に友好地区提携してから早くも4年目を迎え、今年度も第3700地区の地区大会に当地区から、酒井ガバナーご夫妻をはじめ函館より元米山奨学生を含め数名の他、矢橋ガバナーエレクト、元米山奨学生李さん、小生夫妻が参加した。

地区大会は例年通り韓国大邱市において、4月25日～26日に開催された。酒井ガバナーは前日の会長招宴と翌日の大会で韓国語を交えユーモアあふれる挨拶を述べ、万雷の拍手の元和やかに友好の和を確認して参りました。

大会前日のR I会長代理歓迎晩餐会では、古くから伝わる韓国の伝統舞踊などのアトラクションがあり、和やかな雰囲気の中で旧知の方々との親交を深めました。終了後にはバスが用意されており、一行は2次会のカラオケ会場へと例年同様案内されました。

R I会長代理は台湾の方で日本語がおわかりになったので楽しい宴の一夜を過ごすことが出来ました。地区大会本会議は翌日コンベンションセンターでの開催です。会場の広いスペースは数十個の円卓がぎっしりとおかれており、各地域からの参加者はすでに着席し、テーブルには飲み物と軽いつまみ類が用意されており、開会前から盛り上がっていますのは例年通りであります。そんな中で、来賓の紹介があり、各クラブの会長の紹介もあり、そのたびに歓声が上がりあたかも有名歌手グループのイベントのような雰囲気です。

それと比較すると私たちの地区大会は彼らにとってはちょっと物足りないかもしれません。それぞれの地域の特徴を生かしながら相互理解を深めていかなければなりません。

これからも友好関係を継続していくためにもなるべく多くの会員がその眼で現地の様子を体験し、理解していく必要があるものと思われまます。



「静内RC WCS事業」
タイ チェンマイ チェック・ダム工事
2008年6月26日完了

地区WCS委員会

委員長 出村 知佳子（札幌北RC）

RI第3360地区ランナ・チェンマイRCより、静内RC〔全体予算10万円（クラブ5万円）御支援のうちの8万円分の御支援によります、最終工事がBaan Mae Hia 県のチェックダムラインにて行われ、475人のチェンマイ大学等のボランティアの協力を得て、本格的な雨季を前にチェックダム建設工事が行われ、合わせてこのオープンセレモニーがRI第3360地区Anuwatガバナー（ランナチェンマイメンバー）の参加の下開催されました。

この度も地元の協力で、洪水防止にも有効である周辺の緑化も合わせて行われております。



昨年、今年はまだ大きな洪水による災害は起きていないとの事で、チェックダム事業の有効性を感じる場所です。

静内RC皆様のWCS事業への御理解、御協力をありがとうございました。これにて、2007-2008年度タイチェンマイ地区チェックダム事業は全て完了致しました。

このチェックダムがチェンマイの大地を潤し、またこれによる水の恵が地元の村人達の生活を支え続けることを祈ります。



国際友好委員会ニュース

第18回日本ロータリー親睦ゴルフ（JGFR）北海道大会が2008年6月9日（月）小樽カントリー倶楽部にて全国のロータリアンとご家族、80名が参加され開催されました。天候にも恵まれゴルフを楽しみ親睦を深め、プレー終了後、酒井ガバナーにご出席いただき懇親会（表彰式）が行われました。

成 績 表

(敬称略)

	A 部 門			B 部 門		
	氏 名	所属クラブ	NET	氏 名	所属クラブ	NET
1 位	内田 正	吹田江坂	71.8	木村 幹良	湯河原南	73.2
2 位	坂田 知樹	岩見沢東	72.2	池野 兵	上田西	74.2
3 位	谷口 智治	東京世田谷	72.8	北 征十郎	大阪西北	74.2
4 位	加藤 敦	豊田中	72.8	村田 茂	四日市	74.6
5 位	堀田 稔	吹田江坂	73.0	金子 賢一	岩見沢東	75.0
BG賞	谷口 智治	東京世田谷	G 74	金子 賢一	岩見沢東	G 75

(敬称略)

	C 部 門（女性）			ゲ ス ト 部 門		
	氏 名	所属クラブ	NET	氏 名	所属クラブ	NET
1 位	堀田 全子	吹田江坂	76.6	枝吉 俊輝		73.8
2 位	山村 恭仔	呉	77.0	山口 和雄		74.6
3 位	未永 京子	大垣中	77.4	大久保利高		79.0
4 位	内田 久子	吹田江坂	78.8	州崎 昭圭		79.4
5 位	新子美代子	大阪なにわ	79.2	白石 正弘		79.8
BG賞	堀田 全子	吹田江坂	G 97	枝吉 俊輝		G 81

ベストペア賞 1位 山村貞夫、山村恭仔（ 呉 ）

岩見沢東ロータリークラブ コンサドーレ札幌の選手を招きサッカー教室を開催

岩見沢東RCでは、地域のニーズに応えた奉仕プロジェクト社会奉仕、青少年の健全育成の取り組みとして、6月15日に創立25周年を記念した事業の一環として「こどもサッカー教室」を開催しました。

当日、小学生約100人が参加し、コンサドーレ札幌の岩見沢市出身の鈴木智樹選手(MF)、横野純貴選手(FW)の2選手とコーチ3人が指導に当たりました。

この教室には保護者の皆様の多数ご参加下さり、こども達は約2時間、ボールの蹴り方やボールコントロールについてアドバイスを受け、ミニゲームでは試合中のコミュニケーションの取り方などを学びました。



(岩見沢東RC：松重 彰伸広報委員長)

鈴木選手(左)からボールの蹴り方の指導を受ける参加者

新入会員の紹介

(敬称略)



千歳セントラルRC
菊池 孝
08年5月27日入会
住宅建築工事業



深川RC
秋田 祐二
08年5月27日入会
乗用自動車販売



江別RC
麻田 信二
08年6月12日入会
学校経営

訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。



館内辰男会員(恵庭RC)

2008年6月16日逝去 73歳

ロータリー歴

1993年12月 入会
1996～2003年度 青少年、会報、出席、
プログラム、社会奉仕、SAA、
環境保全各委員長歴任
2006～07年度 クラブ会長

ポール・ハリス・フェロー



佐藤寿夫会員(室蘭RC)

2008年6月17日逝去 76歳

ロータリー歴

1989年8月 入会
1991～92年度 職業奉仕委員長
1994～95年度 親睦委員長
1997～98年度 職業分類委員長
1999～00年度 広報委員長
2000～01年度 幹事及びプログラム委員長兼任
2002～03年度 出席委員長
2003～04年度 米山記念奨学委員長
2004～05年度 地区幹事
2005～06年度 クラブ会長(60代)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者マルチプル(3回)
100%出席表彰17年

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

岩見沢東RC	長田 正文	会員 (1回)	5月30日	札幌西RC	伏木 忠了	会員 (3回)	6月27日
札幌北RC	小林 俊之	会員 (2回)	5月9日	札幌西RC	高下 泰三	会員 (4回)	6月27日
札幌北RC	大西 勲	会員 (2回)	5月9日	札幌幌南RC	和田 壬三	会員 (2回)	6月27日
札幌北RC	城木 浩一	会員 (4回)	5月9日	室蘭東RC	荒井 孝亘	会員 (1回)	6月13日
小樽南RC	廣部 孝雄	会員 (1回)	5月2日				
小樽南RC	浜口 貞男	会員 (1回)	5月2日	ポール・ハリス・フェロー			
小樽南RC	上野 雅之	会員 (1回)	5月2日	当 別RC	松田 進	会員	5月30日
小樽南RC	中川 克彦	会員 (1回)	5月2日	当 別RC	大澤 勉	会員	5月30日
小樽南RC	廣瀬 康夫	会員 (1回)	5月2日	当 別RC	島田 裕司	会員	5月30日
函館RC	佐藤 公夫	会員 (1回)	5月9日	札幌モーニングRC	加我 稔	会員	5月16日
函館RC	柴田 繁夫	会員 (1回)	5月9日	札幌西北RC	谷口 二郎	会員	5月30日
苫小牧北RC	山崎 正俊	会員 (1回)	5月30日	岩見沢RC	青野 茂俊	会員	6月13日
苫小牧北RC	山本 正明	会員 (2回)	5月30日	札幌はまなすRC	遠島 芳然	会員	6月27日
岩見沢RC	長谷川暢一	会員 (1回)	6月13日	室蘭東RC	北村 則男	会員	6月13日
岩見沢東RC	田口 剛志	会員 (1回)	6月20日	室蘭東RC	板東 晃	会員	6月13日
滝川RC	松原 章	会員 (1回)	6月20日	様似RC	久野 俊昭	会員	6月27日
札幌モーニングRC	篠原 達雄	会員 (3回)	6月27日	函館北RC	石橋 輝夫	会員	6月20日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

砂川RC	瓜 俊雄	会員 (2回)	5月29日	札幌清田RC	中島 永昭	会員 (1回)	6月27日
札幌西北RC	加藤 武久	会員 (2回)	5月16日	札幌幌南RC	針谷 毅	会員 (4回)	6月24日
札幌西北RC	小川 真治	会員 (3回)	5月29日	小樽RC	西條 文雪	会員 (2回)	6月10日
札幌東RC	野村 昭光	会員 (12回)	5月30日	函館五稜郭RC	能戸 彰	会員 (3回)	6月20日
札幌幌南RC	鎌田 洋	会員 (1回)	5月12日	函館東RC	宮崎あけみ	会員 (1回)	6月10日
千歳RC	森本 裕紀	会員 (3回)	5月13日	苫小牧北RC	伊藤 長英	会員 (28回)	6月26日
室蘭RC	濱中 實	会員 (1回)	5月9日	功労クラブ			
岩見沢RC	本間 純	会員 (2回)	6月11日	江別RC		8回	6月9日
札幌はまなすRC	遠島 芳然	会員 (1回)	6月18日	函館亀田RC		3回	6月23日
札幌西RC	伏木 忠了	会員 (4回)	6月27日	函館北RC		5回	6月18日
札幌西RC	高下 泰三	会員 (4回)	6月27日				
札幌手稲RC	小山 秀昭	会員 (1回)	6月23日				

2007 - 2008年度 クラブ別ロータリー財団寄付額

2008年6月30日現在(暫定)

単位:ドル

グループ	クラブ名	会員数 2007年7月 半期報告	2007～2008年度寄付額					年次寄付	
			年次寄付	使途指定寄付	恒久基金寄付	合計	会員一人当たり	自主申告額	達成率(%)
1	深川	36	4,984.56	0.00	0.00	4,984.56	138.46	3,700.00	134.72
	羽幌	49	3,200.00	0.00	0.00	3,200.00	65.31	2,400.00	133.33
	妹背牛	10	1,000.00	0.00	0.00	1,000.00	100.00	1,000.00	100.00
	小平	15	1,500.00	0.00	0.00	1,500.00	100.00	1,500.00	100.00
	留萌	48	3,920.00	0.00	0.00	3,920.00	81.67	4,600.00	85.22
	小計	158	14,604.56	0.00	0.00	14,604.56	92.43	13,200.00	110.64
2	赤平	31	4,365.93	0.00	0.00	4,365.93	140.84	3,300.00	132.30
	芦別	43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4,400.00	0.00
	砂川	52	5,400.00	0.00	0.00	5,400.00	103.85	5,200.00	103.85
	滝川	99	7,700.00	0.00	0.00	7,700.00	77.78	10,000.00	77.00
	小計	225	17,465.93	0.00	0.00	17,465.93	77.63	22,900.00	76.27
3	美唄	41	2,200.00	0.00	0.00	2,200.00	53.66	4,000.00	55.00
	江別	34	3,494.00	0.00	0.00	3,494.00	102.76	3,700.00	94.43
	江別西	30	2,800.00	0.00	0.00	2,800.00	93.33	3,200.00	87.50
	岩見沢	90	8,590.00	0.00	1,000.00	9,590.00	95.44	9,000.00	95.44
	岩見沢東	35	3,714.27	0.00	0.00	3,714.27	106.12	3,700.00	100.39
	栗沢	21	1,900.00	0.00	0.00	1,900.00	90.48	546.00	347.99
	栗山	32	2,784.31	0.00	0.00	2,784.31	87.01	3,000.00	92.81
	当別	33	4,000.10	0.00	0.00	4,000.10	121.22	3,500.00	114.29
小計	316	29,482.68	0.00	1,000.00	30,482.68	93.30	30,646.00	96.20	
4	札幌幌	123	16,310.00	0.00	0.00	16,310.00	132.60	12,000.00	135.92
	札幌あけぼの	18	2,000.00	0.00	0.00	2,000.00	111.11	1,800.00	111.11
	札幌はまなす	26	3,172.16	0.00	0.00	3,172.16	122.01	2,600.00	122.01
	札幌北	41	8,271.43	0.00	0.00	8,271.43	201.74	4,100.00	201.74
	札幌モーニング	51	6,818.00	0.00	0.00	6,818.00	133.69	5,200.00	131.12
	札幌西	62	7,133.42	0.00	0.00	7,133.42	115.06	7,000.00	101.91
	札幌西北	43	4,645.74	0.00	0.00	4,645.74	108.04	5,000.00	92.91
	札幌手稲	35	4,952.21	0.00	0.00	4,952.21	141.49	3,700.00	133.84
	小計	399	53,302.96	0.00	0.00	53,302.96	133.59	41,400.00	128.75
5	札幌東	108	20,761.02	0.00	0.00	20,761.02	192.23	8,500.00	244.25
	札幌清田	23	2,408.00	0.00	0.00	2,408.00	104.70	2,500.00	96.32
	札幌幌南	68	6,782.35	0.00	0.00	6,782.35	99.74	6,800.00	99.74
	札幌真駒内	35	4,637.14	0.00	0.00	4,637.14	132.49	4,000.00	115.93
	札幌南	87	9,930.73	0.00	1,000.00	10,930.73	114.15	9,000.00	110.34
	札幌大通公園	14	1,180.00	0.00	0.00	1,180.00	84.29	1,400.00	84.29
	札幌セントラル	18	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,500.00	0.00
	新札幌	31	5,150.00	0.00	0.00	5,150.00	166.13	3,300.00	156.06
小計	384	50,849.24	0.00	1,000.00	51,849.24	132.42	37,000.00	137.43	
6	岩内	24	1,722.22	0.00	0.00	1,722.22	71.76	1,740.00	98.98
	倶知安	48	5,000.00	0.00	0.00	5,000.00	104.17	5,000.00	100.00
	小樽	66	1,448.21	0.00	0.00	1,448.21	21.94	6,000.00	24.14
	小樽南	74	3,400.00	0.00	0.00	3,400.00	45.95	7,500.00	45.33
	小樽銭函	20	2,200.00	0.00	0.00	2,200.00	110.00	2,100.00	104.76
	蘭越	11	1,100.00	0.00	0.00	1,100.00	100.00	1,100.00	100.00
	余市	38	1,700.00	0.00	0.00	1,700.00	44.74	3,900.00	43.59
小計	281	16,570.43	0.00	0.00	16,570.43	58.97	27,340.00	60.61	

グループ	クラブ名	会員数 2007年7月 半期報告	2007～2008年度寄付額					年次寄付	
			年次寄付	使途指定寄付	恒久基金寄付	合計	会員一人当り	自主申告額	達成率(%)
7	千歳	64	8,913.00	0.00	0.00	8,913.00	139.27	6,600.00	135.05
	千歳セントラル	29	3,200.00	0.00	0.00	3,200.00	110.34	2,900.00	110.34
	恵庭	40	3,852.00	0.00	0.00	3,852.00	96.30	4,100.00	93.95
	北広島	17	3,244.26	0.00	0.00	3,244.26	190.84	1,800.00	180.24
	長沼	18	1,800.00	0.00	0.00	1,800.00	100.00	1,200.00	150.00
	由仁	12	1,100.00	0.00	0.00	1,100.00	91.67	1,100.00	100.00
	小計	180	22,109.26	0.00	0.00	22,109.26	122.83	17,700.00	124.91
8	えりも	22	2,200.00	0.00	0.00	2,200.00	100.00	2,200.00	100.00
	三石	15	1,771.43	0.00	0.00	1,771.43	118.10	1,600.00	110.71
	様似	18	2,800.00	0.00	0.00	2,800.00	155.56	1,800.00	155.56
	静内	75	9,168.09	0.00	0.00	9,168.09	122.24	7,900.00	116.05
	浦河	34	3,300.00	0.00	0.00	3,300.00	97.06	3,600.00	91.67
	小計	164	19,239.52	0.00	0.00	19,239.52	117.31	17,100.00	112.51
9	伊達	53	5,500.00	0.00	0.00	5,500.00	103.77	5,500.00	100.00
	室蘭	46	5,000.00	0.00	0.00	5,000.00	108.70	5,000.00	100.00
	室蘭東	47	3,750.00	0.00	0.00	3,750.00	79.79	4,500.00	83.33
	室蘭北	35	3,808.00	0.00	0.00	3,808.00	108.80	3,700.00	102.92
	登別	32	4,200.00	0.00	0.00	4,200.00	131.25	3,200.00	131.25
	洞爺湖	8	925.93	0.00	0.00	925.93	115.74	160.00	578.71
	小計	221	23,183.93	0.00	0.00	23,183.93	104.90	22,060.00	105.09
10	函館	89	11,195.00	0.00	0.00	11,195.00	125.79	9,100.00	123.02
	函館亀田	43	4,900.00	0.00	0.00	4,900.00	113.95	4,400.00	111.36
	森	32	2,500.00	0.00	0.00	2,500.00	78.13	3,500.00	71.43
	七飯	16	1,517.86	0.00	0.00	1,517.86	94.87	1,445.00	105.04
	長万部	8	1,000.00	0.00	0.00	1,000.00	125.00	800.00	125.00
	函館セントラル	28	2,847.00	0.00	500.00	3,347.00	101.68	3,000.00	94.90
	小計	216	23,959.86	0.00	500.00	24,459.86	110.93	22,245.00	107.71
11	江差	18	1,700.00	0.00	0.00	1,700.00	94.44	1,800.00	94.44
	函館五稜郭	61	13,498.00	0.00	1,100.00	14,598.00	221.28	6,200.00	217.71
	函館東	43	4,486.00	0.00	0.00	4,486.00	104.33	4,000.00	112.15
	函館北	29	3,404.00	0.00	100.00	3,504.00	117.38	3,100.00	109.81
	北斗	20	2,000.00	1,000.00	0.00	3,000.00	100.00	1,900.00	105.26
	松前	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	500.00	0.00
	小計	176	25,088.00	1,000.00	1,200.00	27,288.00	142.55	17,500.00	143.36
12	白老	25	2,600.00	0.00	0.00	2,600.00	104.00	2,600.00	100.00
	苫小牧	53	3,717.82	0.00	0.00	3,717.82	70.15	5,400.00	68.85
	苫小牧東	28	3,648.35	0.00	0.00	3,648.35	130.30	2,900.00	125.81
	苫小牧北	33	6,174.84	0.00	0.00	6,174.84	187.12	3,500.00	176.42
	小計	139	16,141.01	0.00	0.00	16,141.01	116.12	14,400.00	112.09
地区寄付額			0.00	0.00	0.00	0.00			
地区計	2,859	311,997.37	1,000.00	3,700.00	316,697.37	109.13	283,491.00	110.06	

2007-2008地区年次寄付 自主申告 \$ 283,491.00 実績 \$ 311,997.37 (110.06%達成)

注1. クラブからの送金とズレがある場合があります。ご留意下さい。

注2. 会員一人当りの寄付合計上位3クラブは年次寄付のみです。

1位 函館五稜郭RC 2位 札幌北RC 3位 札幌東RC

2007 - 2008年度 クラブ別米山記念奨学金寄付額

2008年6月30日現在
単位:円

グループ	クラブ名	普通寄付金 単 価 (年額)	2007 - 2008(2007.7 ~ 2008.6)年度 入金額			過 去 累 計 額		
			普通寄付金	特別寄付金	合 計	普通寄付金	特別寄付金	合 計
1	深 川	3 000	108 000	380 000	488 000	5 192 400	12 830 000	18 022 400
	羽 幌	2 000	100 000	18 000	118 000	2 695 500	2 770 284	5 465 784
	妹 背 牛	4 222	40 000	0	40 000	1 423 000	299 000	1 722 000
	小 平	3 000	45 000	0	45 000	1 180 000	20 000	1 200 000
	留 萌	3 000	153 000	320 000	473 000	7 499 500	10 072 810	17 572 310
	小 計		446 000	718 000	1 164 000	17 990 400	25 992 094	43 982 494
2	赤 平	4 000	120 000	0	120 000	3 601 300	3 136 700	6 738 000
	芦 別	4 000	172 000	0	172 000	5 696 300	1 480 000	7 176 300
	砂 川	4 000	208 000	500 000	708 000	4 300 000	11 351 000	15 651 000
	滝 川	4 000	398 000	742 000	1 140 000	10 033 850	24 606 450	34 640 300
	小 計		898 000	1 242 000	2 140 000	23 631 450	40 574 150	64 205 600
3	美 唄	4 000	160 000	220 000	380 000	3 304 500	8 810 000	12 114 500
	江 別	4 000	132 000	180 000	312 000	6 042 350	8 011 597	14 053 947
	江 別 西	3 000	87 000	0	87 000	2 572 000	1 420 000	3 992 000
	岩 見 沢	2 000	181 000	960 000	1 141 000	6 659 850	26 258 300	32 918 150
	岩 見 沢 東	9 000	281 000	0	281 000	2 313 000	2 734 290	5 047 290
	栗 沢	3 000	70 500	190 000	260 500	3 101 150	4 331 000	7 432 150
	栗 山	3 000	93 000	0	93 000	3 503 500	591 500	4 095 000
	当 別	3 000	102 000	0	102 000	2 914 500	723 000	3 637 500
	小 計		1 106 500	1 550 000	2 656 500	30 410 850	52 879 687	83 290 537
4	札 幌	3 000	379 500	1 015 000	1 394 500	14 804 300	24 224 200	39 028 500
	札 幌 あ け ぼ の	4 000	72 000	220 000	292 000	1 888 000	6 598 000	8 486 000
	札 幌 は ま な す	4 000	102 000	651 000	753 000	1 457 100	4 510 200	5 967 300
	札 幌 北	5 000	215 000	597 600	812 600	7 683 250	23 768 539	31 451 789
	札 幌 モ ー ニ ン グ	4 000	202 000	601 000	803 000	3 812 000	13 637 700	17 449 700
	札 幌 西	3 000	184 500	615 000	799 500	11 488 200	21 497 049	32 985 249
	札 幌 西 北	3 000	129 000	715 000	844 000	4 623 750	13 495 365	18 119 115
	札 幌 手 稲	4 000	140 000	542 250	682 250	6 741 750	21 592 550	28 334 300
		小 計		1 424 000	4 956 850	6 380 850	52 498 350	129 323 603
5	札 幌 東	3 000	342 000	1 462 000	1 804 000	11 747 900	34 553 000	46 300 900
	札 幌 清 田	4 000	82 000	200 000	282 000	1 032 000	2 853 000	3 885 000
	札 幌 幌 南	4 000	272 000	350 000	622 000	8 836 450	16 717 800	25 554 250
	札 幌 真 駒 内	3 000	102 000	900 000	1 002 000	4 947 500	22 145 424	27 092 924
	札 幌 南	4 000	362 000	750 000	1 112 000	13 558 450	33 076 200	46 634 650
	札 幌 大 通 公 園	3 000	31 500	76 000	107 500	310 900	207 000	517 900
	札 幌 セ ン ト ラ ル (半)	3 500	63 000	0	63 000	606 500	150 000	756 500
	新 札 幌	3 000	93 000	560 000	653 000	2 893 000	13 777 921	16 670 921
	小 計		1 347 500	4 298 000	5 645 500	43 932 700	123 480 345	167 413 045
6	岩 内	3 000	72 000	61 000	133 000	3 617 400	2 061 000	5 678 400
	倶 知 安	2 000	98 000	0	98 000	2 931 100	700 000	3 631 100
	小 樽	4 000	276 000	150 000	426 000	8 270 450	7 498 741	15 769 191
	小 樽 南	4 000	296 000	760 000	1 056 000	6 177 500	8 951 704	15 129 204
	小 樽 銭 函	4 000	88 000	100 000	188 000	1 487 000	237 337	1 724 337
	蘭 越	2 000	22 000	0	22 000	1 533 800	91 227	1 625 027
	余 市	3 000	118 500	198 000	316 500	3 508 700	2 878 000	6 386 700
	小 計		970 500	1 269 000	2 239 500	27 525 950	22 418 009	49 943 959

グループ	クラブ名	普通寄付金 単 価 (年額)	2007 - 2008(2007.7 ~ 2008.6)年度 入金額			過 去 累 計 額		
			普通寄付金	特別寄付金	合 計	普通寄付金	特別寄付金	合 計
7	千 歳	2 000	130 000	600 000	730 000	5 900 700	5 865 754	11 766 454
	千歳セントラル	2 000	61 000	64 000	125 000	1 365 000	2 314 000	3 679 000
	恵 庭	3 000	125 000	100 000	225 000	3 925 000	5 118 540	9 043 540
	北 広 島	2 000	34 000	0	34 000	1 173 000	770 000	1 943 000
	長 沼	4 000	74 000	140 000	214 000	1 502 000	2 960 000	4 462 000
	由 仁	4 600	50 600	110 000	160 600	857 700	1 460 000	2 317 700
	小 計		474 600	1 014 000	1 488 600	14 723 400	18 488 294	33 211 694
8	え り も	4 000	86 000	0	86 000	2 192 700	374 000	2 566 700
	三 石	4 000	60 000	0	60 000	1 887 750	1 688 000	3 575 750
	様 似	3 000	57 000	0	57 000	2 516 100	308 239	2 824 339
	静 内	2 000	153 000	300 000	453 000	3 840 200	8 260 700	12 100 900
	浦 河	3 000	99 000	0	99 000	3 893 500	4 019 761	7 913 261
	小 計		455 000	300 000	755 000	14 330 250	14 650 700	28 980 950
9	伊 達	3 000	162 000	100 000	262 000	5 423 300	8 684 718	14 108 018
	室 蘭	4 000	184 000	500 000	684 000	8 191 800	6 944 688	15 136 488
	室 蘭 東	4 200	184 800	405 000	589 800	6 368 850	5 511 865	11 880 715
	室 蘭 北	3 000	105 000	302 000	407 000	4 284 750	5 467 644	9 752 394
	登 別	4 000	130 000	0	130 000	3 871 500	4 658 791	8 530 291
	洞 爺 湖	2 000	18 000	0	18 000	1 192 500	662 249	1 854 749
	小 計		783 800	1 307 000	2 090 800	29 332 700	31 929 955	61 262 655
10	函 館 館	3 000	267 000	641 000	908 000	10 503 600	10 581 102	21 084 702
	函 館 亀 田	2 000	88 000	216 180	304 180	2 981 250	3 138 863	6 120 113
	森	2 000	66 000	0	66 000	2 625 600	300 000	2 925 600
	七 飯	3 000	51 000	100 000	151 000	2 915 500	3 559 000	6 474 500
	長 万 部	2 000	18 000	0	18 000	1 578 450	14 000	1 592 450
	函館セントラル	3 000	84 000	360 000	444 000	288 000	1 500 000	1 788 000
	小 計		574 000	1 317 180	1 891 180	20 892 400	19 092 965	39 985 365
11	江 差	2 104	39 995	0	39 995	1 768 095	70 000	1 838 095
	函 館 五 稜 郭	2 000	122 000	1 995 000	2 117 000	4 619 750	16 696 220	21 315 970
	函 館 東	4 000	176 000	880 000	1 056 000	9 621 000	20 887 092	30 508 092
	函 館 北	2 000	60 000	186 000	246 000	4 109 250	5 137 575	9 246 825
	北 斗	2 000	40 000	100 000	140 000	905 000	1 073 303	1 978 303
	松 前	2 000	10 000	0	10 000	634 250	0	634 250
	小 計		447 995	3 161 000	3 608 995	21 657 345	43 864 190	65 521 535
12	白 老	2 000	50 000	50 000	100 000	2 004 500	784 426	2 788 926
	苦 小 牧	4 000	222 000	200 000	422 000	7 765 650	4 346 000	12 111 650
	苦 小 牧 東	4 000	112 000	318 071	430 071	1 613 000	5 424 301	7 037 301
	苦 小 牧 北	4 000	132 000	952 000	1 084 000	5 401 750	14 551 891	19 953 641
	小 計	4 000	516 000	1 520 071	2 036 071	16 784 900	25 106 618	41 891 518
地 区 寄 付 額		0	0	0	0	2 546 575	2 546 575	
地 区 計		9 443 895	22 653 101	32 096 996	313 710 695	550 347 185	864 057 880	

寄付総額上位5クラブ

1位 函館五稜郭RC	4位 岩 見 沢RC
2位 札幌東RC	5位 滝 川RC
3位 札幌RC	

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			07.7.1	08.5.31	増 減	内女性	
1	深 川	3	36	36	0	2	90.32
	羽 幌	5	49	48	-1	1	86.22
	妹 背 牛	4	10	9	-1	0	74.98
	小 平	4	15	15	0	0	81.67
	留 萌	4	51	47	-4	0	85.33
	小 計		161	155	-6	3	83.70
2	赤 平	3	30	30	0	1	94.90
	芦 別	4	43	45	2	0	91.25
	砂 川	4	53	52	-1	0	94.68
	滝 川	5	99	99	0	0	79.00
	小 計		225	226	1	1	89.96
3	美 唄	3	40	40	0	0	90.27
	江 別	4	34	33	-1	1	87.00
	江 別 西	3	30	26	-4	3	82.71
	岩 見 沢	4	90	89	-1	0	95.93
	岩 見 沢 東	3	35	36	1	5	91.93
	栗 沢	4	23	24	1	1	100.00
	栗 山	3	32	28	-4	2	100.00
	当 別	3	34	34	0	0	85.36
	小 計		318	310	-8	12	91.65
4	札 幌	3	123	125	2	0	98.17
	札幌あけぼの	4	18	18	0	1	100.00
	札幌はまなす	3	26	25	-1	4	73.61
	札 幌 北	3	41	44	3	6	89.15
	札幌モーニング	4	51	51	0	0	77.07
	札 幌 西	3	62	60	-2	4	93.98
	札 幌 西 北	4	43	43	0	5	92.62
	札 幌 手 稲	4	35	35	0	1	97.14
	小 計		399	401	2	21	90.22
5	札 幌 東	4	108	122	14	0	97.59
	札 幌 清 田	4	23	18	-5	4	100.00
	札 幌 幌 南	4	68	67	-1	0	100.00
	札 幌 真 駒 内	4	35	35	0	3	94.79
	札 幌 南	3	87	95	8	0	95.73
	札幌大通公園	3	10	11	1	2	81.82
	札幌セントラル	3	18	15	-3	6	91.00
	新 札 幌	4	31	34	3	3	92.69
	小 計		380	397	17	18	94.20
6	岩 内	5	24	21	-3	0	86.00
	倶 知 安	4	49	50	1	4	79.00
	小 樽	3	66	70	4	0	82.05
	小 樽 南	4	75	73	-2	0	88.31
	小 樽 銭 函	4	22	22	0	2	79.50
	蘭 越	3	11	11	0	0	90.90
	余 市	4	38	42	4	5	86.00
	小 計		285	289	4	11	84.54

5月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,861人
当月末会員数(女性)	2,902人(98人)
増加会員数	41人
当月平均出席率	86.89%

グループ	ク ラ ブ 名	例 会 数	会 員 数				出席率
			07.7.1	08.5.31	増 減	内女性	
7	千 歳	4	64	68	4	3	73.06
	千歳セントラル	3	29	34	5	1	77.80
	恵 庭	4	40	42	2	0	88.15
	北 広 島	3	17	17	0	0	88.24
	長 沼	3	18	19	1	3	89.47
	由 仁	5	12	10	-2	0	86.67
	小 計		180	190	10	7	83.90
8	え り も	5	22	21	-1	0	84.76
	三 石	3	15	16	1	1	95.83
	様 似	3	18	20	2	1	83.30
	静 内	3	75	78	3	1	100.00
	浦 河	3	33	33	0	2	85.86
	小 計		163	168	5	5	89.95
	9	伊 達	3	53	55	2	0
室 蘭		4	46	48	2	0	82.57
室 蘭 東		4	44	45	1	0	94.10
室 蘭 北		3	35	35	0	2	100.00
登 別		4	32	32	0	2	84.38
洞 爺 湖		5	9	10	1	0	94.00
小 計			219	225	6	4	88.87
10	函 館	4	89	88	-1	0	77.40
	函 館 亀 田	3	43	45	2	2	96.97
	森	4	32	35	3	0	75.00
	七 飯	3	16	17	1	0	78.00
	長 万 部	4	8	10	2	0	87.50
	函館セントラル	3	28	26	-2	1	61.02
	小 計		216	221	5	3	79.32
11	江 差	3	18	19	1	1	68.40
	函 館 五 稜 郭	4	61	59	-2	0	100.00
	函 館 東	3	43	45	2	4	87.66
	函 館 北	4	29	31	2	0	88.80
	北 斗	4	20	20	0	2	63.70
	松 前	4	5	5	0	0	80.00
	小 計		176	179	3	7	81.43
12	白 老	3	25	25	0	0	75.00
	苫 小 牧	4	53	54	1	2	73.50
	苫 小 牧 東	5	28	28	0	2	78.57
	苫 小 牧 北	3	33	34	1	2	86.29
	小 計		139	141	2	6	78.34
合 計		2,861	2,902	41	98	86.89	

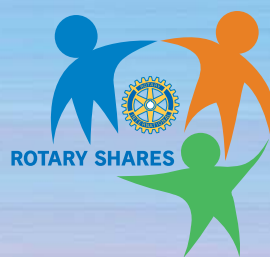
出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			07.7.1	08.6.30	増 減	内女性	
1	深 川	4	36	33	-3	2	81.56
	羽 幌	4	49	48	-1	1	89.67
	妹 背 牛	4	10	9	-1	0	91.66
	小 平	4	15	15	0	0	75.00
	留 萌	4	51	45	-6	0	84.90
	小 計		161	150	-11	3	84.56
2	赤 平	4	30	30	0	1	95.37
	芦 別	4	43	44	1	0	86.88
	砂 川	3	53	52	-1	0	97.22
	滝 川	2	99	99	0	0	84.50
	小 計		225	225	0	1	90.99
3	美 唄	4	40	40	0	0	90.44
	江 別	4	34	34	0	1	89.59
	江 別 西	4	30	26	-4	3	91.34
	岩 見 沢	4	90	88	-2	0	90.41
	岩 見 沢 東	4	35	34	-1	4	88.65
	栗 沢	4	23	23	0	1	98.90
	栗 山	4	32	28	-4	2	93.88
	当 別	4	34	33	-1	0	83.09
	小 計		318	306	-12	11	90.79
4	札 幌	4	123	117	-6	0	97.68
	札幌あけぼの	4	18	18	0	1	100.00
	札幌はまなす	4	26	25	-1	4	67.71
	札 幌 北	4	41	43	2	6	91.07
	札幌モーニング	4	51	49	-2	0	77.49
	札 幌 西	4	62	61	-1	4	92.03
	札 幌 西 北	4	43	39	-4	5	94.10
	札 幌 手 稲	4	35	34	-1	1	97.84
	小 計		399	386	-13	21	89.74
5	札 幌 東	3	108	120	12	0	97.10
	札 幌 清 田	4	23	18	-5	4	100.00
	札 幌 幌 南	4	68	65	-3	0	100.00
	札 幌 真 駒 内	4	35	35	0	3	96.33
	札 幌 南	5	87	92	5	0	94.88
	札幌大通公園	5	10	11	1	2	78.18
	札幌セントラル	4	18	15	-3	6	58.00
	新 札 幌	4	31	32	1	3	89.69
	小 計		380	388	8	18	89.27
6	岩 内	4	24	21	-3	0	80.67
	倶 知 安	4	49	50	1	4	81.00
	小 樽	4	66	67	1	0	79.17
	小 樽 南	4	75	73	-2	0	94.00
	小 樽 銭 函	4	22	22	0	2	75.00
	蘭 越	5	11	11	0	0	85.43
	余 市	4	38	40	2	4	88.75
	小 計		285	284	-1	10	83.43

6月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,861人
当月末会員数(女性)	2,823人(96人)
増加会員数	-38人
当月平均出席率	86.94%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			07.7.1	08.6.30	増 減	内女性	
7	千 歳	4	64	63	-1	3	74.62
	千歳セントラル	4	29	34	5	1	80.14
	恵 庭	4	40	39	-1	0	88.87
	北 広 島	3	17	16	-1	0	88.24
	長 沼	5	18	19	1	3	76.84
	由 仁	4	12	10	-2	0	86.11
	小 計		180	181	1	7	82.47
8	え り も	4	22	20	-2	0	85.71
	三 石	5	15	16	1	1	98.75
	様 似	4	18	19	1	1	88.80
	静 内	4	75	73	-2	1	100.00
	浦 河	4	33	33	0	2	81.06
	小 計		163	161	-2	5	90.86
	9	伊 達	4	53	53	0	0
室 蘭		4	46	46	0	0	94.62
室 蘭 東		3	44	41	-3	0	96.90
室 蘭 北		4	35	35	0	2	100.00
登 別		4	32	32	0	2	84.38
洞 爺 湖		4	9	10	1	0	97.50
小 計			219	217	-2	4	92.45
10	函 館	4	89	87	-2	0	81.20
	函 館 亀 田	5	43	45	2	2	98.14
	森	4	32	34	2	0	75.00
	七 飯	4	16	17	1	0	95.00
	長 万 部	4	8	10	2	0	80.00
	函館セントラル	4	28	24	-4	1	72.00
	小 計		216	217	1	3	83.56
11	江 差	4	18	19	1	1	85.50
	函 館 五 稜 郭	4	61	55	-6	0	100.00
	函 館 東	4	43	45	2	4	81.16
	函 館 北	4	29	30	1	0	88.40
	北 斗	4	20	20	0	2	52.50
	松 前	3	5	5	0	0	80.00
	小 計		176	174	-2	7	81.26
12	白 老	4	25	25	0	0	84.40
	苫 小 牧	4	53	50	-3	2	72.60
	苫 小 牧 東	4	28	25	-3	2	83.03
	苫 小 牧 北	4	33	34	1	2	84.93
	小 計		139	134	-5	6	81.24
合 計		2,861	2,823	-38	96	86.94	



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
2007-2008
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510